



校長室だより

きまがせ



令和6年3月13日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

子どもたちの様子から

職員室前の通路に、色とりどりに咲いているパンジー等が植えてあるプランターがあります。これらは、グリーンボランティアの方々が、年間通してこまめに学校の花々の手入れをしてくださっているものです。次々に花が開くように、適宜花を摘み取り、職員玄関や校長室内に飾っています。

先月、校長室に飾るために花を摘んでいたところ、6年生の児童が、「きれい。」と笑顔で話しかけてきました。それは、普段話しかけてくることがほとんどなかった児童からの言葉でした。美しい花々の様子を見て、本当に心から「きれい。」と、思わず話しかけたくなった瞬間だったのでしょう。とても素敵なことだと感じました。



また、別のある日、下校を見送っていると、ある児童が、「校長先生、〇〇くんって、ものすごく歌がうまいんだよ。」と満面の笑顔で話しかけてきました。その日の音楽の学習で、一人で歌う場面があったようです。まるで、自分の手柄のように、友達の上手な歌声のことを自慢げに話すその児童と話していて、**友達の良さをこんなに素直に嬉しそうに伝えていることが、素敵だなと感じました。**（後で音楽の担当に聞いたところ、友達のことを教えてくれた児童も素敵な歌声の持ち主とのことでした。）

美しいものを美しいと言えたり、素晴らしいことを素晴らしいと伝えたりできる、素直な木間ヶ瀬小学校の子どもたちの素敵な言動に触れることができ、とても嬉しくなりました。

さて、先週から卒業式に向けた練習が始まっています。6年生には、「残りの日々、一日一日の重みを感じながら、今できる精一杯の思いを込めて、真剣に練習に取り組んでほしい。」と伝えています。在校生を代表して式に参加する4・5年生にも、6年生の姿を見て、次年度に向けて高学年としての自覚を高めてほしいと願っています。

“一生に一度しかない” 小学校の卒業式を成功させるために、職員一同、最後の支援、指導に当たってまいります！

